



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 ロジザード株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4391 URL <https://www.logizard.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金澤 茂則  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 三浦 英彦 (TEL) 03(5643)6228  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	451	6.4	69	△26.8	69	△26.9	50	△15.4
2022年6月期第1四半期	424	9.4	94	32.1	94	32.0	59	22.0

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 50百万円(15.6%) 2022年6月期第1四半期 59百万円(21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	15.94	15.53
2022年6月期第1四半期	18.90	18.31

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,758	1,540	87.6
2022年6月期	1,830	1,537	84.0

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 1,540百万円 2022年6月期 1,537百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	14.95	14.95
2023年6月期	—	—	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

子会社である龍騎士供給鏈科技(上海)有限公司(中国現地法人)は、現在解散及び清算手続きを行っており、清算終了となると個別業績のみとなるため、連結業績予想を作成しておりません。したがって、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P8「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	3,272,500株	2022年6月期	3,272,500株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	100,082株	2022年6月期	100,082株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	3,172,418株	2022年6月期1Q	3,164,381株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、徐々に以前の状態を取り戻しつつあります。しかしながら、その状態は長期化した新型コロナウイルスによって根本的に変化した行動様式を前提としたものとなって現れており、今後はその定着化が進んでいくものと推察しております。

一方で世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻が現在もなお継続しており、これがあらゆる国家に影響を与えております。間接的にも資源価格上昇やインフレ・円安など、国内外経済に様々な分野で無視できない影響が今後とも生じると想定されております。

このような変化を受けて、当社サービスの主たる顧客にあたる流通業界においては、新常态を意識した対応の準備を始めております。同時に対応する物流業界は、社会生活のインフラとして、ECのみならず多様な物流ニーズに応えようとしております。

当社としましては、今後の情勢を注視しつつ、引き続き適切に対応してまいります。国内における物流の人手不足対応など、喫緊の課題に変化はないと考え、積極的な営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は451,691千円（前年同期比6.4%増）、営業利益69,285千円（前年同期比26.8%減）、経常利益69,291千円（前年同期比26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益50,559千円（前年同期比15.4%減）となりました。

なお、当社グループは、在庫管理システム事業を単一セグメントにしているため、セグメント別の記載を行っておりませんが、サービス別の業績は、以下のとおりであります。

#### (クラウドサービス)

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当第1四半期連結累計期間における売上高は356,219千円（前年同期比7.0%増）となりました。

#### (開発・導入サービス)

当サービスにおいては、ロジザード Plusからロジザード ZEROへの移行やクラウドサービス導入作業支援の増加により、当第1四半期連結累計期間における売上高は78,520千円（前年同期比16.9%増）となりました。

#### (機器販売サービス)

当サービスにおいては、帳票などのサプライ品の受注が減少したため、当第1四半期連結累計期間における売上高は16,952千円（前年同期比30.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて72,110千円減少し、1,758,427千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて63,668千円減少し、1,511,351千円となりました。この主な要因は、前期の未払法人税等、未払賞与及び配当金を支払ったことにより現金及び預金が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,442千円減少し、247,075千円となりました。この主な要因は、「ロジザード ZERO」の基本機能のバージョンアップを行った一方、減価償却費の計上によりソフトウェアが減少したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて75,233千円減少し、217,621千円となりました。この主な要因は、前期の未払法人税等及び未払賞与を支払ったことによるものであります。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,122千円増加し、1,540,805千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

子会社である龍騎士供給鏈科技(上海)有限公司(中国現地法人)は、現在解散及び清算手続きを行っており、清算終了となると個別業績のみとなるため、2023年6月期の個別業績予想を作成し、2022年8月12日に公表いたしました通期の個別業績予想から変更はありません。

個別業績予想については、以下の通りでございます。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	1,824	3.0	199	△45.6	139	△41.1	43,93	

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,260,997	1,223,453
売掛金及び契約資産	257,060	212,591
商品	3,698	3,932
仕掛品	15,880	18,698
その他	38,179	52,801
貸倒引当金	△796	△126
流動資産合計	1,575,019	1,511,351
固定資産		
有形固定資産	32,263	32,427
無形固定資産		
ソフトウェア	177,607	166,865
その他	1,326	3,653
無形固定資産合計	178,934	170,519
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,391	32,391
その他	11,929	11,736
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	44,321	44,128
固定資産合計	255,518	247,075
資産合計	1,830,538	1,758,427
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,718	19,160
未払金	82,915	85,894
未払法人税等	89,916	21,696
賞与引当金	-	33,581
その他	101,305	57,287
流動負債合計	292,854	217,621
負債合計	292,854	217,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,184	301,184
資本剰余金	293,686	293,686
利益剰余金	1,102,427	1,105,558
自己株式	△160,071	△160,071
株主資本合計	1,537,227	1,540,359
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	456	446
その他の包括利益累計額合計	456	446
純資産合計	1,537,683	1,540,805
負債純資産合計	1,830,538	1,758,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)
売上高	424,468	451,691
売上原価	187,488	224,348
売上総利益	236,979	227,342
販売費及び一般管理費	142,270	158,056
営業利益	94,708	69,285
営業外収益		
受取利息	15	14
その他	66	1
営業外収益合計	82	16
営業外費用		
為替差損	64	11
その他	0	—
営業外費用合計	64	11
経常利益	94,725	69,291
特別損失		
固定資産除却損	11,285	—
特別損失合計	11,285	—
税金等調整前四半期純利益	83,440	69,291
法人税等	23,643	18,732
四半期純利益	59,797	50,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,797	50,559



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	59,797	50,559
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	109	△9
その他の包括利益合計	109	△9
四半期包括利益	59,906	50,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,906	50,549

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。